

# 狭小最大限住居

東京都杉並区  
2002年12月竣工

## ポイント

厳しい条件(法規・密集)からどうやって快適な環境、空間を勝ち取るか。

## 敷地条件

- ・2階建住宅密集地の奥
- ・敷地面積15坪・建蔽率40%・容積率80%

## 家族

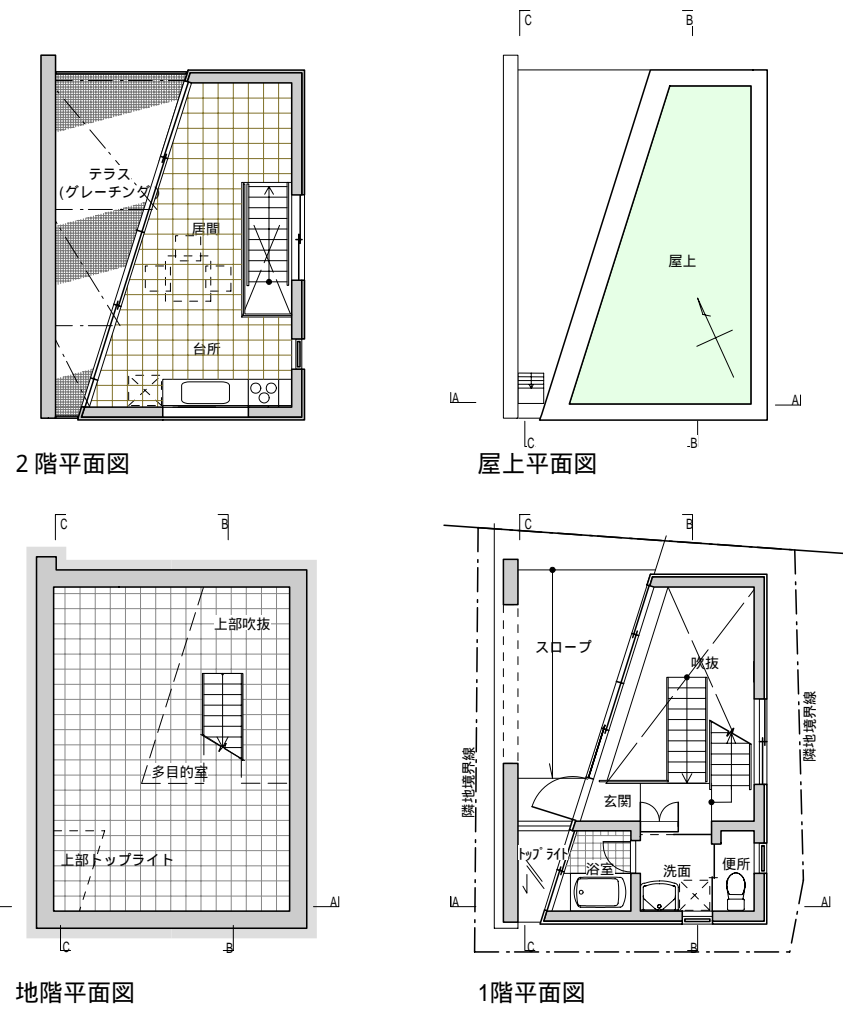
- ・3人(30代夫婦+子供)

## その他

- ・車1台
- ・屋上に趣味のハム無線電波塔

## 解決策

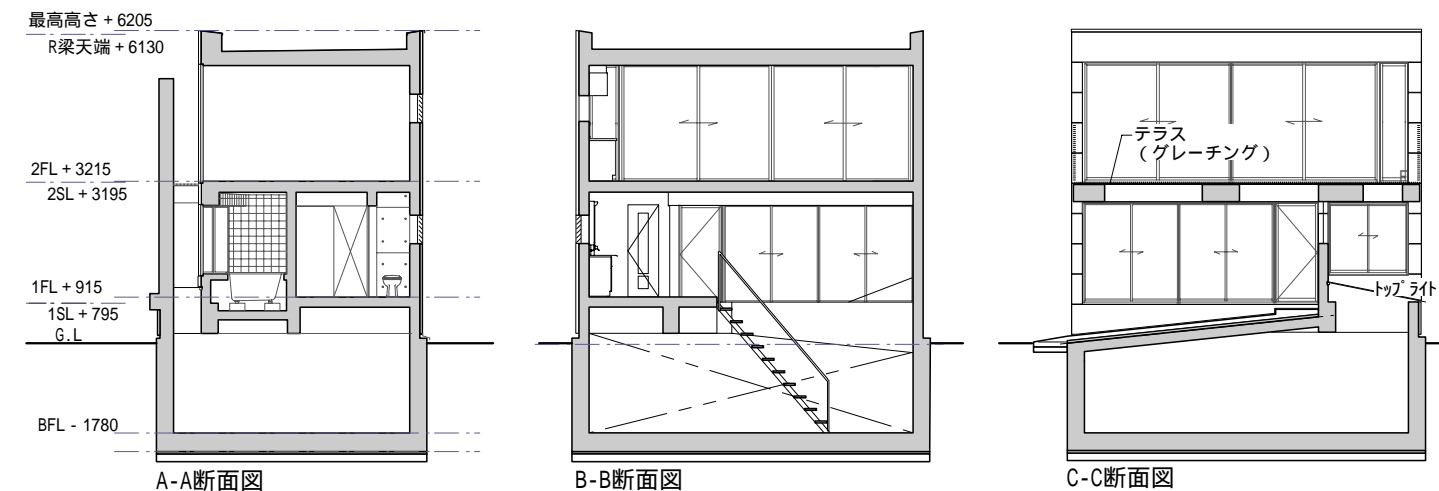
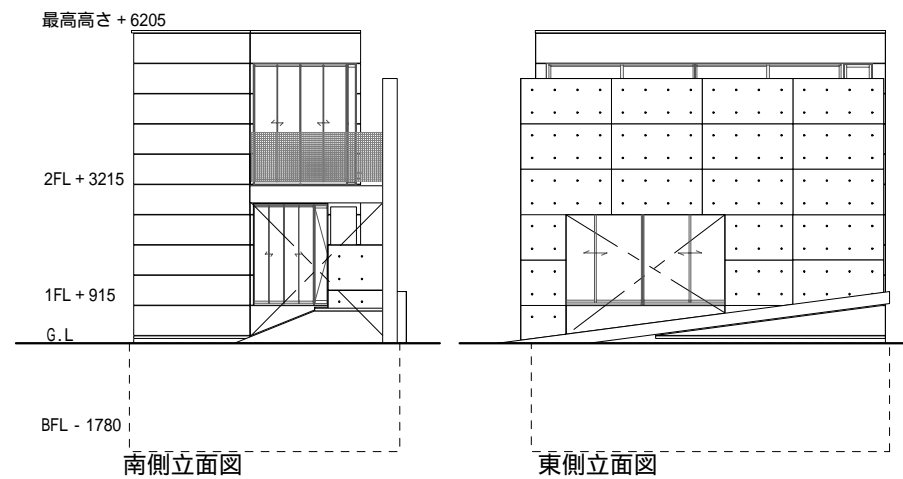
法規上緩和される地下室の利用  
グレーチングによるテラス。  
周辺を読み込んだ配置。  
屋上の利用。  
固定家具を減らし、なるべく空間を区切らず空間の融通性を確保。  
断熱パネルを利用した外断熱の採用により、内装を簡略化(無害化)、実質空間容積の確保。



## 建築データ

建築用途: 専用住宅  
設計監理: 一級建築士 大宮司勝弘  
構造設計: 金子雄太郎  
施工: 日祥工業株式会社  
工事期間: 2002.6 ~ 2002.12  
主体構造: 鉄筋コンクリート造  
主要仕上げ材料:  
外壁/断熱サンドイッチパネル(イソバンド(日鉄鋼板)), コンクリート打放  
天井/コンクリート打放、壁/コンクリート打放、床/コルクタイル

建築面積: 20.0m<sup>2</sup>  
延床面積: 62.5m<sup>2</sup>  
敷地条件:  
敷地面積52.5m<sup>2</sup>  
第一種住居専用地域  
準防火地域  
第一種高度地区  
建蔽率40%  
容積率80%



第3回Nisscイソバンドデザインコンテスト  
特別賞受賞 (2003日鉄鋼板)

